

# おでかけだより

秋号 NO. 43

平成26年10月1日

発行：NPO法人『おでかけサービス杉並』 発行責任者：樋口 蓉子  
〒167-0051 杉並区荻窪5-18-11サニーシティ荻窪103  
TEL 03-6425-8584 FAX 03-5397-1755  
<http://www7b.biglobe.ne.jp/~npo-odekake/>

## おでかけ企画



## 神楽坂のまちを楽しむ

参加者  
募集

昨年大変好評をいただきました神楽坂へのおでかけ企画、今年は、杉並区社会福祉協議会の助成を受け開催いたします。

この外出は要介護者の方と、普段家庭で要介護者の方をケアしているご家族の方とペアーでご参加いただくものです。神楽坂に着いて、まずはゆっくりと皆さんで昼食をいただき、その後、サポーターと共に神楽坂の散策（ガイド付き）を楽しんでいただきます。ご自宅まで送迎の車（必要なら福祉車両）を用意しますので、気軽にご参加いただけるものと思います。

またこの日、神楽坂では「まちとびフェスタ」が賑やかに催されています。秋の一日、古い歴史と文化のまちをご一緒に楽しみませんか！

参加者募集の概要を以下に記載しますが、詳しくは同封の外出企画案内チラシを参照いただき是非お申し込みください。尚、募集は6組12名ですので、応募が多数の場合には抽選とさせていただきます。



### <神楽坂外出企画参加募集の概要>

日 程：11月2日（日） 10時30分～16時頃

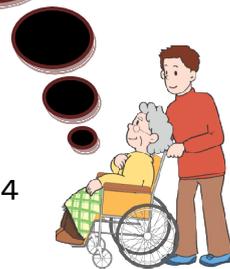
参加費：お一人2500円（昼食・ティータイム飲み物・保険料込）

申込み・問合せ：おでかけサービス杉並（担当：野口）

FAX 5397-1755 又は 電話 6425-8584

募集締切日：10月17日（金）

※その他詳細は、同封のチラシを参照ください。



空が高く、そよぐ風も気持ちの良い季節になりました。  
夏の間おでかけを控えていた方も、少し外に出てみませんか。  
遠くまで行かなくても、近くの公園にお散歩というだけでも気分がリフレッシュしますね。

さて先日、運転協力員21名のうち14名の方と理事を交え安全運転ミーティングを行いました。今回も車のトラブルや事故の報告、ヒヤリハットの共有などが主な議題でしたが、この場は普段交流のない運転協力員同志が顔を合わせる良い機会にもなっていて、お互いの経験をもとに大いに話が盛り上がりました。「また気持ちを引き締め次の安全運行に臨むことができる」との感想もいただきました。

コーディネーター 野口 恭子

コーディネーター  
つうしん





# 「けやきの見える家」がオープンします

おでかけだよりの前号（夏号）で、「オープンリビングけやきの見える家」事業への支援を行う旨をご報告しましたが、いよいよ10月2日に「けやきの見える家」がオープンすることとなりました。まず準備段階として、地域の問題点や簡単な介助実技、認知症への対応、及び傾聴の仕方などを学ぶため、6月から7月にかけて「ご近所ささえあい教室」を延べ5回開催し、講座修了者全員の21名のみなさんが「けやきの見える家」の活動にボランティアとして参加される意思を示され、8月から9月の2カ月間はこのボランティアの方々を交え開設準備を進めました。杉並区長寿応援ファンドの助成を頂いたことで、開設に必要な備品の調達や、施設の手直しなども完了し、今は実際に来訪者（利用者）の方々を迎える緊張感と期待の中にいます。この間、ケア24善福寺を始め様々な専門分野の方々や、志を共有する地域の仲間の支援を頂きました。また、参加しておられるボランティアの方々の熱意が、準備を進める上での大きな力となりました。“してあげる”“やってもらう”という関係ではなく、来訪者が自分の家の居間のようにゆっくりと寛ぎ、突然できた大家族の中で楽しむ、そんな「けやきの見える家」をめざします。そして将来的には、居場所の集いの中から見えてきた地域の課題を、地域包括ケアシステムの協議の場に提供しながら、共に解決を図っていきたくと考えています。



※「けやきの見える家」は西荻北4丁目にあります。毎週木曜日、13:30~16:30に開きますので、利用や見学を希望される方は「おでかけサービス杉並」にお問い合わせください。



## 退任挨拶



鈴木 則男

4年間続けてきた運行員を9月中旬でやめることにしました。

車好きの私が定年退職後に抵抗なく取り組める活動を探していたところ、福祉車両の運行

をしている「おでかけサービス杉並」があることを知り、参加させていただきました。この活動には、サラリーマン時代とは全く違った人間関係がありました。自分から積極的に話しかけたりすることが苦手な方だった私は、運行員を始める前は、利用者さんとのコミュニケーションがうまくできるか心配しました。いざ始めてみると自分でもびっくりするほど会話をしている、これまでと違う自分を見つけたようでした。運行員を続けていた間、私が心を痛めたのは、高齢者ドライバーの事故が増え続けていることでした。そして自分もその高齢者の一人なのだということを自覚したとき、不測の事故で利用者さんにご迷惑はかけたくないという気持ちを強く持つようになりました。これが活動をやめようと思った大きな理由です。この間、運行手配などのサポートを続けてくださった野口さんはじめ事務局の皆さん方にお礼申し上げます。これから、NEKOの手サポートの登録はつづけますが、何か新しい活動も見つけるつもりです。皆様のご活躍をお祈りします。

## 新★運転協力員

定年退職してから数年が経ち、何かしなくてはと考えていたところ、すぎなみ地域大学の「福祉車両運転協力員講座」が目にとまり、受講いたしました。

そして、今年の4月から縁あって「おでかけサービス杉並」でお手伝いさせていただく事になりました。

些少なながら地域のお役にたてればと、これからもゆっくりズムの安全運転を心掛け、頑張りたいと思っております。

どうぞよろしく  
お願いいたします。



堀川 博志